

患者さんへ

疫学研究「DNAR プロトコールを使用した院外心停止患者に対する救急隊活動の研究」
についての説明文書

1. この疫学研究の目的

昨今の高齢化を背景に、慢性疾患を患った高齢者が自身の意思表示として人生の最終段階に心肺停止状態となった時に心肺蘇生などを希望しない **Do Not Attempt Resuscitation; DNAR** といった選択肢があります。また、現代の医療では治療不可能な疾病を持った患者が苦痛に耐えながら生存するよりも、同様に **DNAR** を希望されていることもあります。この選択肢は終末期に患者の意思を最大限尊重するという行為として注目されてきています。今までは **DNAR** の意思表示がある患者が心肺停止状態となった場合は、蘇生行為を行いながら病院に搬送していました。しかしこれらの行為は患者の意思に反するものであり、さらに回復不可能な患者に不必要な医療資源を投与することにもなるため、医療コストの面でも非合理的でありました。

神戸市救急隊は **2023** 年 **4** 月 **1** 日から **DNAR** プロトコールを開始しました。かかりつけ医師を交えた十分な病態の理解と、本人による意思表示、さらに家族による了承などが確認できれば、心肺停止状態となった患者の蘇生行為は行わず、搬送せずにかかりつけ医師に引き継ぐことができるといったものです。 **DNAR** プロトコールを適応するには「かかりつけ医師による確認」「推定を含む患者本人の意思表示」を確認し、当該 **MC (Medical Control)** 医師にプロトコール適応の承認を得る必要があります。よって救急現場で **DNAR** プロトコール活動が円滑に進めば、救急活動を現場で終了させることができるため出動から帰署までの時間の短縮につながります。さらに医療コストの削減にもつながります。

よって本研究では院外心停止患者に対し **DNAR** プロトコールを適応した群と、**DNAR** を希望するもプロトコールを適応できなかった群、さらに通常救急活動を行なった群を比較検討します。

2. 疫学研究に参加していただく対象患者さんの疫学研究期間

2023 年 **4** 月 **1** 日～**2024** 年 **3** 月 **31** 日に神戸市消防局に入電があり、病院へ救急搬送された病院外心停止症例を対象とします。

3. 疫学研究の方法について

神戸市消防局から付与された病院外心停止患者のデータから対象患者を抽出します。年齢、性別、搬送日時、入電時刻、救急隊出動時刻、救急隊到着時刻、心電図初期波形、バイスタンダー胸骨圧迫の有無、病院前処置（高度気道確保、静脈路確保、アドレナリン投与）、活動終了時刻、帰署時刻を評価した後に、救急隊活動時間、投与した医療コストの評価を行います。

DNAR プロトコールを適応した群と、DNAR を希望するもプロトコールを適応できなかった群、さらに通常救急活動を行なった群を比較検討します。

4. 疫学研究への参加の自由と参加のとりやめについて

この疫学研究に参加するかしないかはあなたの自由意思によります。参加をお断りになられても、不利益を受けることはありません。たとえそれが疫学研究中であっても、あなたはいつでも参加をやめることができます。その場合は担当医師に申し出てください。また、代諾者の方もあなたと同様に同意を撤回したり、中止の申し入れをしたりすることができます。

5.あなたの人権・プライバシーの保護について

この研究では、個人を特定できるような氏名・診療カード番号・住所などの個人情報登録されておりません。また、人間関係や会話内容なども一切使用しません。ご心配な点がございましたら、下記当院担当科までお問い合わせください。

6.この研究に関連する危険性、健康被害について

この疫学研究は、神戸市消防局から付与された救急搬送患者のデータを用いるもので、患者さんへの危険性や健康被害が起こる可能性は、一切ありません。

7.費用の負担について

この疫学研究に参加することによる患者さんの費用負担は、一切ありません。

8.この疫学研究を担当する医師の氏名、連絡先

この疫学研究について分からないことやさらに詳しい説明が欲しい場合、気がかりなことがある場合は、いつでもご連絡ください。

疫学研究責任医師;

救急部

氏名; 西村 健 連絡先;078-241-3131